

第44期 経営計画発表にあたって

我が社も会長と母が二人で相模原商事を起業してからちょうど49年の年月が経ちました。私が尊敬する経営者、松下幸之助氏や稲森和夫氏も最初は一人や仲間たちの少人数で立ち上げました。それが今では日本を代表し世界ではばたく企業へと発展しています。この二人の理念、考え方は会社経営のみならず人間力の向上にも相通じるので時代の変化に関係なく、本が売れ、学びに来る人々が多いのだと思います。私は新しい人が入社した時に必ず我が社の経営理念を伝え、同時に大手企業の経営理念をホームページで調べ伝えます。大手企業も最初は小さかったけれどなぜここまで大きく発展しているか、経営理念を学びたいからです。ある上場会社を比較したときに、一つの会社は創業からの理念をしっかりと伝え、それにつながる新たな理念もホームページ上で分かるようにしていた。一方の会社は掲げてはいるが、色々と検索しないとわかりにくい。すると昨今、偶然にもホームページで検索してもわかりにくかった企業から利潤を求めすぎて不正が起こる、また会社の売却問題などで岐路に立っているニュースを目にしました。技術やノウハウでは素晴らしいものを持っているが、そこに働く人たちへの経営理念が浸透していないから起きてしまったのではないか。私は、会社の大小関係なく経営理念の浸透を図っている会社は永続的に、またピンチがあってもそれを乗り越えて会社を存続させている。その実践をした経営者の方々からも色々と学びました。そしてその方々は、会社の大小関係なく、人として当り前のことをあたりまえに実行し、社員と一致協力して社員の幸せと社会貢献に規範を守りながら事業存続のために日々弛まぬ努力をしています。今回の経営計画書の表紙、会社が成長発展する未来像を実現する為に目次からストーリーを作った。基本方針（根）事業活動方針（幹・年輪）そして個別方針（ルール）。これはすべて我が社の理念から流れています。来年には創業50年という半世紀を迎えます。私は創業100年を迎える為に創業の理念とこの経営計画書を道具にして方針を浸透させ日々成長し社会に貢献する会社にします。一人一人が我が社の代表です。誇りを持ち、44期顔晴ろう！